科目名	臨床病態学Ⅳ （Clinical Pathophysiology Ⅳ）			科目コード	159
開講学科	看護学科	選択区分	必修	単位数（時間）	１単位（30時間）
科目区分	専門基礎科目	履修時期	２年次前期	関連DP	看④⑤⑥
担当教員	竹内　一人、今村　高暢＊				
授業概要	高齢者のケアに必要な内科、泌尿器科、整形外科的疾患および精神・神経科などの必要な知識が得られるように講義する。精神医学についてはそれらの疾患の診断基準・病態（発症要因、症状、経過、予後）や標準的な治療について講義する。（オムニバス方式） （竹内教授）高齢者医療について教授する。 （今村非常勤講師）精神医学について教授する。				
授業目標	高齢化社会の到来とともに高齢者医療に対する関心の高まりはただ単に医学に留まらず、社会、経済のあらゆる分野に及んでいる。高齢者はその生理や代謝の面から多くの点で若い人と異なっている。高齢者の臨床を行う際にはその身体的特徴および疾患の特徴を十分に把握する必要がある。近年、精神疾患も病態解析がなされ、疾患特異性が明らかになってきている。そのため、疾患の診断基準・病態（発症要因、症状、経過、予後）や標準的な治療を理解することはこれからの診療に不可欠である。 これらを修得することを目標とする。				

授業計画

回	項目	内容	担当者
1	総論１	イントロダクション、高齢化の現状、老化の概念・メカニズム	竹内一人
2	総論２	老化について（老化とアンチエイジング）	
3	総論３	加齢による身体の変化、高齢者に特有の症状１（老年症候群１）	
4	総論４	高齢者に特有の症状２（老年症候群２） 高齢者の臨床検査、栄養療法、薬物治療	
5	各論１	高齢者で注意を要する疾患１（循環器疾患、血管疾患）	
6	各論２	高齢者で注意を要する疾患２（老化と疾患、代謝疾患）	
7	各論３	高齢者で注意を要する疾患３（運動器疾患、骨粗鬆症、サルコペニア、ロコモティブシンドローム、フレイル）	
8	各論４	高齢者で注意を要する疾患４（神経疾患・認知機能障害）	
9	精神医学１	統合失調症	今村高暢
10	精神医学２	神経症	
11	精神医学３	気分障害	
12	精神医学４	嗜癖	
13	精神医学５	発達障害、知的障害	
14	精神医学６	摂食障害	
15	精神医学７	パーソナリティ障害	

成績評価方法	竹内担当分野　50%、今村担当分野　50%（内訳：試験のみ）
教科書	北川公子ほか「系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護学」（医学書院） 佐々木英忠ほか「系統看護学講座　専門分野Ⅱ　老年看護　病態・疾患論」（医学書院） 武井麻子ほか「系統看護学講座　専門分野Ⅱ　精神看護学[1]　精神看護の基礎」（医学書院）
参考図書等	
授業時間外の学習について	
関連科目	156 臨床病態学Ⅰ、157 臨床病態学Ⅱ、216 老年看護対象論、228 精神看護対象論
備　　考	実　竹内、今村＊：医師（医療機関）